

平成 19 年度 共済金額 4,053 億円を達成！

～「浜を守る！ぎょさい総加入運動」最終年度の更なる躍進に向けて～

「浜を守る！ぎょさい総加入運動」は 2 年目を終えました。運動 2 年目となる平成 19 年度は、急激な燃油高騰等により漁業が厳しい漁業経営を強いられているなか、契約者の掛金負担を軽減する「漁業共済基盤強化事業」を積極的に活用し、団体一丸となって運動を展開した結果、総合で前年度を 94 億円上回る 4,053 億円(前年対比 102%)を達成することができ、事業開始以来初となる 4,000 億円を突破しました。

一方、支払実績は、瀬戸内海一帯で夏から秋にかけて少雨・高水温の状態が続いたことにより、のり養殖業で栄養塩不足による大規模な色落ち被害、かき養殖業でも高水温による大量へい死が発生したこと等から、支払共済金は 119 億円(前年対比 106%、7 億円増)となりました。

さて、20 年度は「浜を守る！ぎょさい総加入運動」の最終年となります。運動最終年となる今年度の取組みは、これまで通り「漁業共済基盤強化事業」の積極的な活用とあわせ、今年度からスタートした「積立ぶらす」とのセット推進により、これまで以上の漁業経営の安定化を目指します。本年度の加入目標 4,250 億円の達成に向けて、全国の共済団体一丸となって加入推進に取り組んでまいります。

(平成 20 年 4 月 15 日 運動情報版より)